

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27115	施策名		戦略的原子力技術利用高度化推進費補助金			
新規／継続	継続	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad		社会還元			
施策の目的及び概要	エネルギー安定供給や地球温暖化対策等の観点から原子力発電の利用拡大が期待される中で、我が国における戦略的原子力技術水準の向上及び利用の高度化を図るため、我が国原子力産業の持続的発展に必要な革新的原子力技術の実用化に向けた研究開発等を行う。						
達成目標及び達成期限	高い安全性と信頼性が要求される原子力発電に必須の大型重量構造物やコア部材・機器等について、革新的原子力技術の実用化を支援し、我が国原子力技術の厚みを維持・発展させる。						
研究開発目標及び達成期限	2030年頃からの大規模な代替炉建設需要が見込まれている中、現在の低迷期を乗り越え、2030年以降も総発電電力量の30～40%程度以上の供給割合を原子力発電が担っていくために、我が国原子力技術の厚みを維持・発展させる。						
23年度の研究開発目標	世界的に供給者が稀少なコア部材である超大型鍛造部材、超大型蒸気発生器等の実証確認試験等を実施し、性能確認を行う。						
施策の重要性	今後、我が国における原子力発電所の新規建設需要は当面低迷する一方、2030年頃からは大規模な代替炉建設需要が見込まれている。この低迷期を乗り越え、2030年以降も総発電電力量の30～40%程度以上の供給割合を原子力発電が担っていくためには、それまでの間、我が国原子力技術の厚みを維持・発展させることが喫緊の課題であり、我が国原子力産業の持続的発展に必要な革新的技術の実用化に向けた研究開発等を支援していく必要がある。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
1,630				1,000			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				—			
H23概算要求額の内訳	人件費:301 事業費:547 外注費:352 —						
期間	H21～H23			資金投入規模(億円)		64	
これまでの成果(継続のみ)	世界的に供給者が稀少なコア部材である超大型鍛造部材、超大型蒸気発生器等の大型鋼塊内部性状調査、蒸気発生器試験体の製作、試験装置の製作等を行い、確証試験に向けたデータ等を収集。						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	・総合資源エネルギー調査会国際戦略検討小委員会においても「我が国の産業力の維持に必要なコア技術を有する素材・部材メーカーについて、(中略)技術開発等を支援するなど、厚みのある産業基盤の維持・発展を目指すべき」と結論付けられている。						
昨年度優先度判定(継続のみ)	着実	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)		昨年度優先度判定時の指摘を踏まえ、2030年頃からの大規模な代替炉建設需要に向けた、原子力技術の厚みの維持・発展に関する取組について、引き続き国として実施していくことを確認。			
国民との科学・技術対							

話推進への対応(対象 施策のみ)	平成23年度の公募より、アウトリーチ活動の実施を評価要件として加える予定
---------------------	--------------------------------------